



展示キット

ふしぎな

へび

企画書

へびがいます。  
何の材料でつくられていると  
思いますか？

実はこれ、**金属製**です。  
金属はかたいはずなのに、  
へびはなめらかに動きます。なぜ？  
へびの動きの秘密を探ってみましょう。

秘密を探るポイント

- ・ 観察 すみずみまで見る
- ・ 比較 比べてみる



この解説パネルとともに見える、動くもの…  
その正体は…

自在蛇置物(複製)です！

【原品】宗義作、鉄鍛造、昭和時代・20世紀、東京国立博物館蔵

自在置物(じざいおきもの)、略して「自在(じざい)」は、江戸時代(18世紀)以降、甲冑師(鎧を作っていた職人)が大名らの注文を受けて作るようになったと考えられています。実際は何に使ったのか、詳しいところは分かっていないものですが、ここで紹介するへびのほかにも、チョウ、カマキリ、タカ、龍などが作られました。



「ふしぎなヘビ」は、国立科学博物館との共同研究プロジェクトとして、2023年に始動しました。

東京国立博物館所蔵の「自在蛇置物」の複製品(レプリカ)を活用し、生きているヘビはどのように動くのか？自在ではその動きをどこまで再現できているのか？など、実際のヘビの動きについて動画も交えながら、似ているところ・違うところをじっくり観察し、科学と美術、両方の視点から“ヘビの動き”に迫る、文理融合型の展示キットです。

歴史・自然史系博物館や美術館をはじめとして、さまざまなタイプの施設で来館者の知的好奇心を刺激します。



キット全容：2025年9月9日・10日に実施した、国立科学博物館での試行展示の様子

「ふしぎなヘビ」は、展示台3台(うち1台は動態展示台)、解説映像モニター2台、解説パネル、解説パネルをつけるための什器一式がすべてセットになった展示キットで、日本全国どこへでも出張(お貸し出し)可能です。

\*物量の目安は、大型(1040 x 1040 x 1700mm)のカゴ台車2台です。

\*上写真の展示スペースは、比較的長く伸ばした展示構成を取り、およそ1000 x 12,000mm (=12㎡)でした。

# 展示キットについて

## 展示物

動態展示台(自在蛇置物複製が動きます)

資料展示台1 シマヘビレプリカ、自在蛇置物複製

資料展示台2 シマヘビ骨格標本(実寸、拡大)、触れる模型ハンズオン2種



w. 900 x d. 900 x h. 830 (アクリル含む)



各 w. 900 x d. 600 x h. 864



\*本物のシマヘビおよび原品の自在蛇置物は、キットには含まれません。

\*動態展示台および映像モニター2台で電力を使用します。

・動態展示台 315w

・モニター 各27.5W x 2台

通電後、自動で動作・ループ上映されます。

## 解説パネル、映像

解説パネル18枚(2026年3月現在)

解説映像1 リアルなヘビの顔・尾・鱗(スライド上映)

解説映像2 リアルなヘビの動き(動画上映)

## 屏風型パネルスタンド

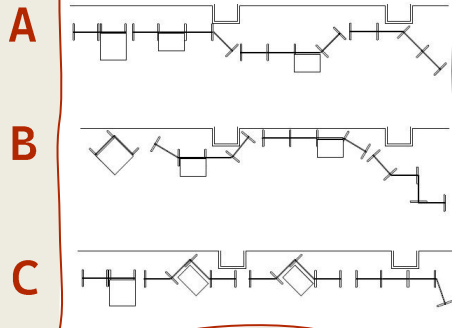
導入用 :2枚組

1~3章用:4枚組

\*2枚組は2セット、4枚組は3セットあります。



各 w. 900 x d. 25 x h. max 1670



パネルスタンドは、270度程度まで折り曲げ可能です。会場の広さや、キットと合わせて展示したいものにに応じて、適宜レイアウトしてください。

左は、国立科学博物館で試行展示を行なった際のプラン3案です。最終的にC案の配置とし、資料展示台2台の位置を、背後の壁と平行に置きました。

## 展示キットについて

### 📦 その他同梱物

展示ケア用品

- ・アクリル用クリーナー
- ・ウェス
- ・真空吸着盤
- ・ハンズオン(拡大)スペア
- ・延長コード 長3本、短3本
- ・メンテ用備品(ハンズオン設置用ワイヤー、塗装補修のための塗料など)



### 📋 備考

- ▶解説パネルは日本語だけです。英語訳は、解説パネルにあるQRコードから読み取っていただく形となります。
- ▶常駐の看視は、基本的には不要です。
  - \*未就学児のお子さんの来訪が多い施設の場合、巡回看視をお願いする場合がございます。
- ▶キットには踏み台(3台)をご用意しております。必要に応じてご使用ください。
- ▶来場者が屏風型パネルスタンドの裏側へ入らないようにしたい場合は、適宜、自館のパーテーションをご用意ください。
- ▶本事業における(ぶんかつ)職員の派遣はございません。
  - 設置に関するご相談やお打ち合わせは、事前に随時お受けいたします。
  - また設置に関するマニュアルを、キットに同梱いたします。
  - \*設営・撤収時に当センター職員の立会いを希望される場合は、派遣依頼書面および職員の旅費のご負担をお願いいたします。

## 展示キットお貸し出しにかかる経費

■キット利用料…1週間まで 120,000 円、1か月まで 220,000円ほか

詳しくは、ぶんかつウェブサイトより、「文化財複製を活用したキットの貸出」ページをご覧ください。

→ [https://cpcp.nich.go.jp/modules/r\\_free\\_page/index.php?id=128](https://cpcp.nich.go.jp/modules/r_free_page/index.php?id=128)

\*博物館・美術館等施設、小学校・中学校・高等学校等の教育機関、社会教育関係団体、青少年教育施設が**教育・生涯学習活動の一環として行うもの**など、**使用目的の公共性が高いもの**については、利用料が**減免**もしくは**免除対象**となりますので、お気軽にご相談ください。

### ■輸送・保険料

文化財活用センター(ぶんかつ)と展示会場との往復輸送及び付保は、開催施設にて手配してください。

\*輸送方法は美術梱包輸送でなくとも構いませんが、必ず、輸送と展示の保険を含む動産総合保険へご加入ください。

保険に加入したことがわかる書類のご提出をお願いいたします(写しでも可)。



せい さく ぶん か ざい かつ よう      こく りつ か がく はく ぶつ かん      きょうりよく      とう きょうこく りつ はく ぶつ かん  
制作：文化財活用センター、国立科学博物館      協力：東京国立博物館  
かん しゅう      よし がわ なつ ひこ      こく りつ か がく はく ぶつ かん      し みず けん      とう きょうこく りつ はく ぶつ かん  
監修：吉川夏彦（国立科学博物館）、清水健（東京国立博物館）

「ふしぎなヘビ」貸し出しのご希望やお問い合わせ先

国立文化財機構 文化財活用センター 企画担当  
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

TEL:03-5834-2856  
9時30分～17時(土日祝日を除く)

自在蛇複製を活用  
したワークショップ  
のご相談も承って  
おります 